

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」四軒家校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50名	(回答者数) 46名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人ひとりの特性、状況に合った支援プログラムで支援を行っています。	支援後にフィードバックの時間を設け、支援を通してできるようになったこと、成長した点、今後の課題などを保護者様に伝えて情報共有を行っています。	利用者の進路相談、中学受験対策、高校受験対策、面接の練習なども含め、受験生のサポートも積極的に行っていきたいと考えています。
2	社員間のコミュニケーションが活発で風通しの良い事業所です。	毎日のミーティングを通して情報共有を行い、職員間の連携を高めるようにしています。	職員間で常にコミュニケーションを取り、担当していない利用者の状況も把握できるように情報を共有し、事業所全体できめ細かいサポートを提供できるようにしていきたいと考えています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の老朽化によるリスクを低減させること。	社員全員で毎朝清掃を行い、事業所内の清潔保持に努めています。	蟻、ゴキブリなどの昆虫類の防除対策を進めていきたいと考えています。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」四軒家校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

50名

回収数

46名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	46	0	0	0		支援内容により個室と広いスペースを使い分けています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	41	4	0	1		複数担当制による業務のカバー体制を構築しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37	7	0	2	・フロア内は配慮されています。	現在、スロープや手すりなどが必要なお子様は通所しておりませんが、今後、必要なお子様のご利用される場合は適切に対処いたします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	46	0	0	0		毎朝、清掃とアルコール消毒を行っています。床にラグを敷いたスペースを設け数人でカードゲームなどを行える環境を整えています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	45	0	0	1		個別支援計画、専門的支援計画に沿って支援を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	44	0	0	2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	46	0	0			一人ひとりの利用者に対してアセスメント、モニタリングを行い放課後等デイサービス計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42	3	0	1		「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目を設定し、その上で援内容を設定しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43	0	1	2		指導員全員が個別支援計画作成に関わり支援内容が共有されているため、計画に沿った支援を行うことができています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	40	3	1	2	・こちらの希望に沿った内容で支援していただいています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	9	9	17	・活動しているかもしれないが、参加したことがないので分からない。 ・こちらの事業所では特にこの内容は求めません。	地域交流会については限られた支援時間の中で実施が難しいことから現在、実施しておりません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば個別支援計画に組み込んだ上で実施いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	45	0	0	1		入会時に、規程書定、負担額などについてくわしく説明を行っています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	45	0	0	1		個別支援計画の支援内容を確認していただきサインを頂いています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	6	2	19		今後、要望があれば検討します。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	44	1	0	1	・子どもに言われて毎回事業所へ行くことがなくなった為、詳しく聞く回数は減ったように思う。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	1	0	4		支援終了後のフィードバックの時期や定期的に行うモニタリングの時期などを利用して保護者の相談に応じています。また、時間が足りない場合は、別日に「相談支援」の時間を設けて相談に応じています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	44	1	0	1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	11	9	14	・開催されているのかもしれないが参加していないので分からない。 ・兄弟にもコミュニケーションを取ってくださっている。	今後、要望があれば検討します。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36	2	0	8	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	41	3	0	2	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	3	2	12	定期的に、HPを更新し、活動概要やお知らせ、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	1	0	1	個人情報に記載された書類などは、鍵付きの書庫に保管するようにしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	2	1	8	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	4	1	16	定期的に業務継続計画を見直し、避難、救出、その他必要な訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	3	0	8	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修に参加する機会を設け、安全管理が十分された中で支援を行うように配慮しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	37	2	0	7	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	46	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	45	1	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	46	0	0	0	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」四軒家校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		支援内容により個室と広いスペースを使い分けています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		複数担当制による業務のカバー体制を構築しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			現在、スロープや手すりなどが必要なお子様は通所しておりませんが、今後、必要なお子様ご利用される時は適切に対処いたします。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、清掃とアルコール消毒を行っています。床にラグを敷いたスペースを設け数人でカードゲームなどを行える環境を整えています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		高学年の利用者には自学習をするスペースを設けています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所評価アンケートを実施して、改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日ミーティングを開き、職員の意見を把握する機会を設け、その内容を業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、必要に応じて実施を検討します	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修に参加しています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成、公表をしています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		一人ひとりの利用者に対してアセスメント、モニタリングを行い放課後等デイサービス計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		保護者とモニタリングを行い、個別支援計画案を作成、原案をもとに指導員全員が参加し、個別支援会議を実施、個別支援計画を完成させています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		指導員全員が個別支援計画作成に関わり支援内容が共有されているため、計画に沿った支援を行うことができます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		こどもの適応行動の状況をNCプログラムに沿ったアセスメントを行ったり行動観察を行ったりして確認しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目を設定し、その上で援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			季節のイベントなどを計画し活動プログラムの立案をチームで行いたいと考えています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		保護者様の要望を踏まえつつ、お子様が興味関心を持って楽しく課題に取り組めるように教材や内容を工夫してプログラムを作成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		月ごとに集団活動も組み合わせた支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、ミーティングで確認しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りは、次の日の朝、ミーティングで今後の方針を確認し共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援後、毎回、支援記録を作成します。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い適切な見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		担当指導員、または児発管が出席するようにしています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		個別支援計画や支援記録などの情報を提供できる体制を整えています。	今後、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えていきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			個別支援計画や支援記録などの情報を提供できる体制を整えています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			個別支援計画や支援記録などの情報を提供できる体制を整えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			当事業所は送迎を行っていない為、学校との情報共有、連絡調整は行っていません。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			個別支援計画や支援記録などの情報を提供できる体制を整えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			個別支援計画や支援記録などの情報を提供できる体制を整えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			現在は行っていません。 今後の課題として地域の児童発達支援センターとの連携を図るようにしていきたいと考えています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域交流会については限られた支援時間の中で実施が難しいことから現在、実施しておりません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば個別支援計画に組み込んだ上で実施いたします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			児童部会に参加して研修を行っています。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			支援終了後、フィードバックの時間を設け、その中で子どもの状況を保護者と伝えあい、子供の状況や課題について共通理解を持つようになっています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			今後、要望があれば検討します。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			入会時に、規運営定、負担額などについてくわしく説明を行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			モニタリングを行い、保護者様の要望を踏まえつつ家族の意向を確認しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援終了後のフィードバックの時間や定期的に行うモニタリングの時間などを利用して保護者の相談に応じています。また、時間が足りない場合は、別日に「相談支援」の時間を設けて相談に応じています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		今後、要望があれば検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		頂いた相談や申し入れに対しては、職員全員で共有し、会議で対応等について決定後、迅速かつ適切に対処しています。また、「相談支援」の時間を設けて相談に応じています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に、HPを更新し、活動概要やお知らせ、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報記載された書類などは、鍵付きの書庫に保管するようにしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		現在は実施しておりませんが、今後必要であれば実施を検討します。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に業務継続計画を見直し、避難、救出、その他必要な訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		入所時に服薬や子供の状況について何うようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		当事業所では、飲食をする機会がないため行っていません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修に参加する機会を設け、安全管理が十分された中で支援を行うように配慮しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった際には報告書を作成し、職員間で情報を共有 再発防止に向けて話し合う機会を設けています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内の法令上必須研修に参加し、適切な対応を学ぶ機会を確保しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				